

ラコール®NF配合経腸用半固形剤※ 投与の手順

半固形栄養剤用加圧バッグ (別売り) を使用する場合

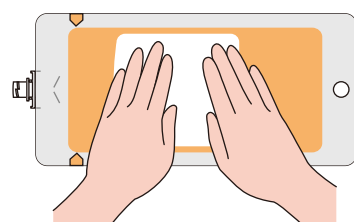
1 操作前には必ず手洗いおよび手指消毒等を行ってください。



2 患者さんの上半身を30~45度*に起こします。



3 半固形剤を両手で交互に10回ほどもみます。



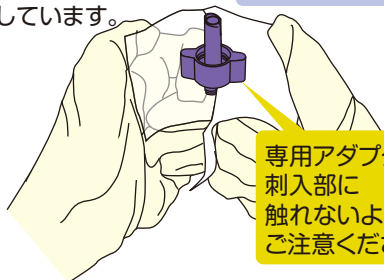
ISO 80369-3 タイプ ラコールNF配合経腸用半固形剤専用アダプタ(別売り)を使用します

4 包装を開封し、専用アダプタの刺入部を出します。

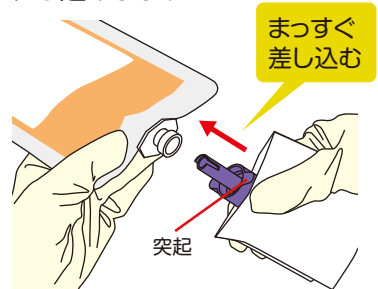
包装内は滅菌しています。

ISO 80369-3 タイプ

専用アダプタの刺入部に触れないようご注意ください。

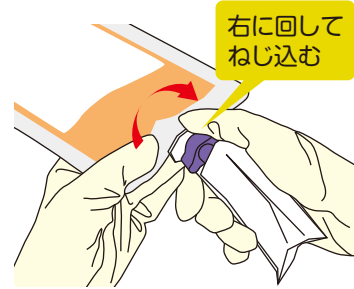


5 半固形剤の口栓に専用アダプタの突起を上にして差し込み、右に回してねじ込みます。



まっすぐ差し込む

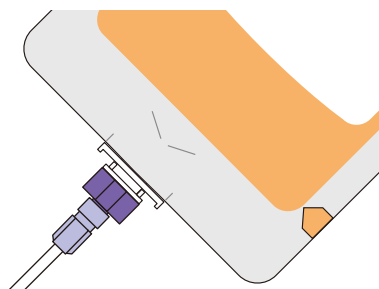
突起



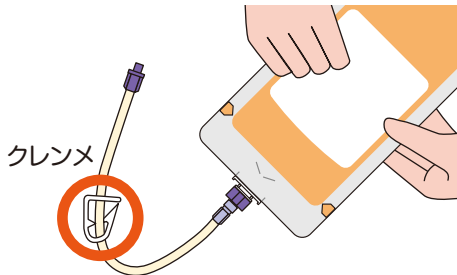
右に回してねじ込む

包装をむいた状態でねじ込むと清潔に操作できます。

6 胃ろうチューブ等に専用アダプタを接続してください。



7 チューブ内に半固形剤を満らし、クレンメを閉じてください。

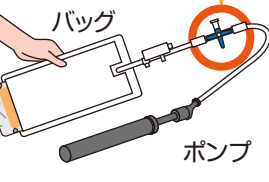


クレンメ

8 加圧バッグに半固形剤をいれてください。



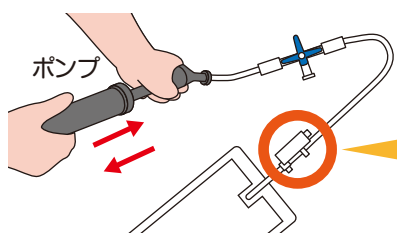
コックを図のように合わせてください。



栄養剤

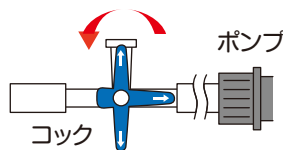
ポンプ

9 手動ポンプを前後にスライドさせ、圧力ゲージの緑色の目盛が見えるまで、加圧バッグを膨らませます。

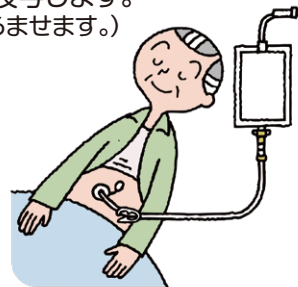


圧力ゲージ
緑色を超えないよう調整してください。

10 三方活栓のコックを図のように合わせ、クレンメを開き、半固形剤を投与します。(必要に応じて加圧バッグを膨らませます。)

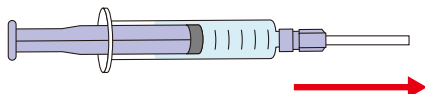


*加圧バッグの使用方法等については、製品の取り扱い説明書をご覧ください。



投与後は

投与終了後は少量の水もしくは白湯でフラッシュし、チューブをきれいにしてください。



体調変化、栄養剤の漏れなどが
ないか確認します。

